

GISとWebは どうつながっていくのか

ジャーナリスト
佐々木俊尚
sasaki@pressa.jp

セカンドライフは普及しなかった

ハイエンドPCが必要。



操作もたいへん。



では次の可能性は？



GISへの方向性

GIS (地理情報システム)とメタベースが融合すれば.....

**リアルと仮想空間の
新たなコラボレーションモデルの登場。**



全世界の地形を取り込む。

Multiverse Network

Google Earthの地形データを読み込み、一気にメタバースが構築できる。

リアル世界の緯度と経度を入力すると、Google Earthの持っているデータがメタバースにインポートされる。



世界を取り込むことができれば.....。

これはメタバースを極大化し、
新たなメタバースビジネスを生み出す
可能性を秘めている。



リアル世界にタグを付ける。

Earthmine

現実世界を3Dパノラマ写真で検索可能に。



現実をメタバースの中に取り込む。

Google Mapの「Street View」機能のように、路上から見た光景を3D化し、さらにそこにインデックスを付加することが可能。

現実世界に存在するオブジェクトのデータを保持して、それぞれに関する詳細な属性を記録していく。

緯度、経度、高度、その他の地図データを、ゴミ箱、電柱、マンホール、街路樹のひとつひとつに書き込むことができ、それを擬似3Dビューワで再現、観察することができる。



これらが実現していけば.....。

いずれメタバースシステムは、
インターネット世界の
プラットフォームとなっていく可能性を
秘めている。



さらには、モバゲータウンのローカル化

ゼンリンが持つ日本国内の地図を取り込み、サイト上に掲載する。ユーザーは地図を検索し、任意の地点に「家」として個人用ページを開設。アバターを住まわせる。

アバターを使って、ほかのユーザーの家を訪問することも可能。また地図上に地域の飲食店などに関する掲示板を設け、アバターを通じて口コミ情報をやりとりできる。

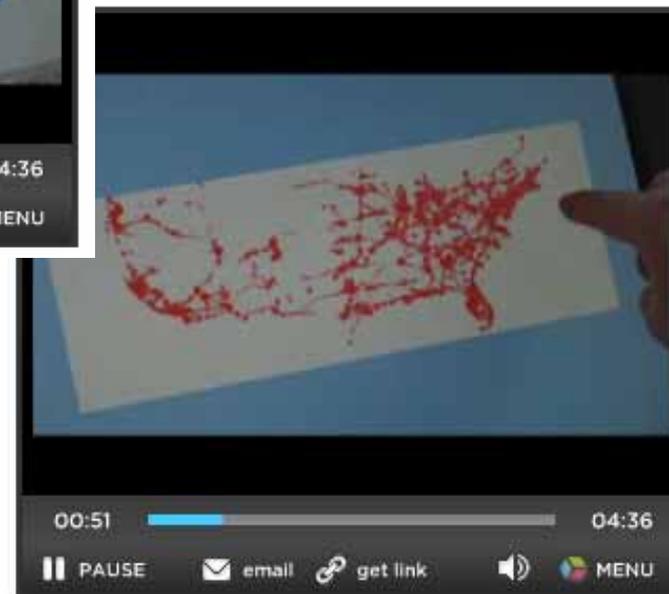
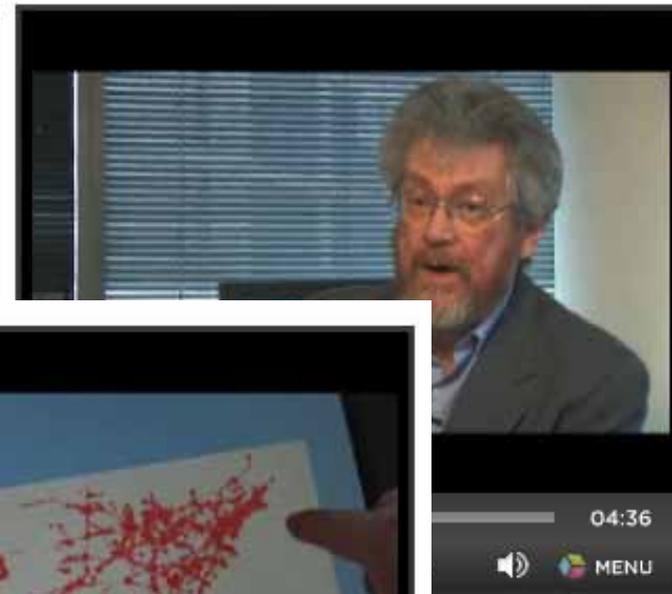
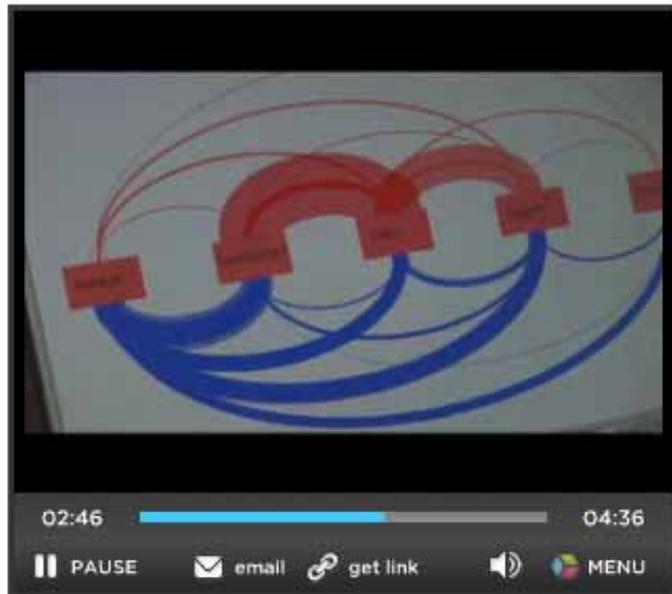


ライフログビジネス

人々の生活の全記録を
蓄積し、
それをもとにレコメンドするビジネス。



リアリティ・マイニング



マサチューセッツ工科大
アレックス・ペントランド教授の
プロジェクト。



